

第 48 回中井町地域公共交通会議 議事録

日時：令和 7 年 3 月 19 日（水）10 時 00 分～

場所：中井町農村環境改善センター 2 階 研修室

【会議次第】

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 報告事項
 - (1) 公共交通マップについて
 - (2) 震生湖線への対応について
- 4 その他
- 5 閉会

【協議事項の議事】

3 報告事項

(1) 公共交通マップについて

資料により事務局から説明。

委 員： マップはこれから配布するのか、配布方法はどのようになるか。また、いつ発行したものか分かるような記載が必要と考える。

事 務 局： マップの配布は 4 月以降になる予定。配布は全戸配布で、広報と一緒に配ることを考えている。発行時期についての記載は追加する方向で検討する。

委 員： 路線バスの時刻表はQRコードのみで自分で検索する形になっているが、時刻表が必要ではないか。

事 務 局： 時刻表を記載することも検討したが、スペースの関係で難しかったため、主要なバス停間の所要時間を記載した。マップを見やすくし、長く使っていたけるようにこの内容となっている。

委 員： スマートフォンを使用するのが難しい高齢者もいると思うので、バスの時刻表だけ別紙で用意できないか。

事 務 局： 今回は情報量の関係もあり、乗り方などの基本的な情報を掲載している。どこの時刻表を載せるかという問題もあり、内部で検討した結果このような形となった。路線バスの時刻表については改めて検討する。また、デジタルデバイド対策として、町でスマホ教室や相談会を実施しており、来年度も開催予定である。そのような取組も併せて行っているので、ご理解いただきたい。

会 長： バスの時刻については電話での問合せも可能で、その連絡先の記載もあるので、パソコンやスマートフォンがなくてもそちらで調べることもできる。

委 員： オンデマンドバスは今後も駅には接続しないのか。

事 務 局： 昨年度策定した地域公共交通計画の中では、町の方針として路線バスを町の

交通の幹とし、オンデマンドバスはそこにつなぐ枝と位置づけている。ただ、今後の状況の変化によって、より使用しやすい公共交通のあり方を検討していきたいと考えている。

会 長： オンデマンドバスは1人の客を運ぶのにコストが4,000円ほどかかっている。基本的には、路線バスでなかなか拾いきれない町内の移動に使っていただき、町外に行くときには路線バスをうまく活用していただくという考え方。皆が駅に行ってしまうと町内の予約が取りにくくなるというようなこともあり、バランスを考慮してこのようになっている。ただ、ずっと変わらないわけではなく、状況に応じてより良いものにしていく。

委 員： タクシーの予約は電話でしかできないのか。

委 員： GOアプリ等に対応しているので、そちらから予約をすることもできる。

(2) 震生湖線への対応について

委 員： 昨年から路線バスの走っている各自治体と路線のあり方の協議を行っている。乗務員不足が課題となっており、ニュースなどでも言われている2024年問題として、業務のインターバルと残業規制がある。また、大型二種免許の保有者も減少傾向にある。さらに、3年連続で職員の待遇改善を行っているが、応募者が少なく採用者も少ない。このような状況のため、乗務員と利用の状況によって減便などを検討している。震生湖線については、小中学生の通学のために朝夕1便ずつ走らせているが利用者が減少している状況であり、路線の廃止を含めて町に話をしている。

会 長： 10年ほど前であれば収支が問題で赤字路線を減らしていくところだが、現在は乗務員の不足で乗客がいる路線も減らさざるを得ない状況となっている。バスでなければ運べない地域もバスがなくなってきている中で、乗客の少ない震生湖線はバス以外で対応し、二宮駅までの路線を残すなどの検討も必要になってくる。今回は早い段階で話をいただいたので、前もって代替手段を含め検討し、準備していくことが重要。バス協会から補足があればお願いしたい。

委 員： 2024年問題については、実は2019年から働き方改革が実施されている。5年間の猶予があったが、コロナ禍もあり改善が難しかった。そのような中で全国的に運賃の値上げを行い、待遇改善や設備更新の原資としたところではあるが、乗務員が確保できていない。このような状況についてご理解をいただきたい。

事 務 局： 資料により説明

委 員： オンデマンドバスの予備車両を令和6年度中に使ったことはあるのか。

事 務 局： 常に1台が予備車両になっているのではなく、3台が均等に運行している。

- 委 員： 対応案2について、人数が少なければ予備の1台を小中学生の送迎に充てるということはできないか。
- 事 務 局： 対応案2については、現在運行しているオンデマンドバスの車両を充てる案である。原則として、現在の運行費用内での対応を考えており、3台目を使用すると新たに運転手の確保や人件費が必要となるため、それは考えていない。
- 会 長： 様々なバリエーションが考えられるが、3台目を使うというのは、実は対応案1と似ている。実現可能性が高いか、経費はどうか、というところである。
- 委 員： 路線は中井町だけで完結しているか。
- 委 員： 秦野市にもかかっている。秦野市とも話をしており、何も代替手段の手当はしないが致し方ないという反応。
- 委 員： 今後のスケジュールに神奈川県生活交通確保対策地域協議会とのやりとりがあるが、詳細な情報提供をいただきスケジュールを詰めていってほしい。また、新たな対応策は令和8年度から開始するのか。
- 事 務 局： 町と神奈中との話の中では、震生湖線は令和8年度4月から廃線となり、同時に新たな運行形態で対応していきたい。神奈川県生活交通確保対策地域協議会に神奈中から廃線の申し出が提出されると町に確認が来ると思うが、その際には公共交通会議の皆様と協議していただく。申し出の時期は仮であるが、今後の参考に作ったもの。
- 委 員： 小中学生に限って無償で行うのか。
- 事 務 局： それも含めてこれから検討していく。事前登録制のようなものを考えてはいる。
- 会 長： 運賃を収受する場合には運賃協議会での決定が必要となる。スクールバスのように無償であればそれは不要。対応策のバリエーションが多いので手続きも様々なことが考えられ、今後の会議も議事がどうなるかは未定である。
- 委 員： 秦野市も絡む案件なので、スケジュールは前後する可能性がある。
- 委 員： 県もこのスケジュールでは厳しいかもしれない。
- 副 会 長： あくまでも事務局案ということで、スケジュールは流動的なものということで了承いただきたい。
- 委 員： マップのバス停の名前に「69本別所」というのがあるが、これは正しい名称か。
- 委 員： これで合っている。

4 その他

- 会 長： その他として、事務局からは何かあるか。
- 副 会 長： スケジュールの資料に「案」と記載していただき、資料の修正としたい。

事務局： スケジュールについて説明する予定だったが、先ほどのように案という形になるため、また会議を開催する際には改めて案内する。

会長： 皆様から発言がなければ、後は事務局にお願いします。

事務局： 長時間に渡り、審議いただき感謝する。以上をもって、第48回中井町地域公共交通会議を終了とさせて頂く。第49回については、主に地域内フィーダー系統の国庫補助金の事業計画や、震生湖線への対応についての協議を想定している。以上で閉会とする。

以 上